

北陸公法判例研究会開催のご案内

新緑の候、皆様におかれましては、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、この度、下記の日程で北陸公法判例研究会を開催致します。万障お繰り合わせのうえ、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

日時：5月24日（土）午後1時30分から

場所：石川県教育会館4階第二会議室（香林坊1丁目、大和の裏：地図参照）

内容：【研究報告】

・平川英子（富山大学）

フランス租税行政における事前照会・通知制度

《参考文献》

・金子宏「財政権力」・基本法学・151頁

・常岡孝好「法令解釈照会制度と不問通知」・金子古稀・447頁

【判例研究】

・東川浩二（金沢大学）

Morse v. Frederick, 127 S. Ct. 2618 (2007)—違法薬物の利用を奨励するようなメッセージをのせた横断幕を振りかざした高校生に対して、校長が行った10日間の停学処分は、学生の修正1条の権利を侵害しない、とされた事例
《参考文献》

・学校と表現の問題について、井上徹也「学校における子どもの表現の自由—アメリカ合衆国最高裁判所の判例をめぐって—(一・二(完))」同志社法学52巻5号31頁、同53巻1号38頁(2001)

・ヘイト・スピーチ規制の合憲性について、安西文雄「ヘイト・スピーチ規制と表現の自由」立教法学59号1頁(2001)など

当日、新入会員の歓迎と会員諸氏の懇親の会を予定しています。出席いただける先生は、事前にご連絡ください。



連絡先 東川浩二（金沢大学法学類） eastriv@kenroku.kanazawa-u.ac.jp